

研究機関：広島大学

研究課題名	呼吸困難を訴える患者に緩和ケアチームが介入することで期待できる自覚症状の変化についての後方視的検討
研究責任者名	広島大学病院 精神科 診療講師 小早川 誠
研究期間	平成 30 年 4 月 26 日(倫理委員会承認後) ~平成 31 年 3 月 31 日
対象者	平成 27 年 4 月から平成 30 年 3 月の間に、広島大学病院の入院患者のうち、主治医あるいは担当看護師から緩和ケアチームの介入を新規に依頼された患者。特に呼吸困難を訴えている患者。
意義・目的	呼吸困難は、終末期がん患者における緩和困難な症状の一つです。がん患者の呼吸器症状の緩和に関するガイドラインにおいて、モルヒネの全身投与が呼吸困難緩和に有効であるといわれています。しかし、実臨床ではモルヒネが十分量使用されておらず、緩和ケアチーム介入が必要なケースが見受けられます。今回、呼吸困難を訴えている患者さんに対して、緩和ケアチームが介入することでどのような治療を行い、また実際に患者さんの呼吸困難が改善しているかどうかを明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、主病名、Performance Status、自覚症状、合併症、主病名の診断日、緩和ケアチーム介入日、治療内容、予後などです。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	ありません。
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 精神科 診療講師 小早川 誠
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5196 広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子内科学 大学院生 難波 将史 (担当者) 広島大学病院 精神科 診療講師 小早川 誠 (研究責任者)